

## 統合看護実習

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、地域包括ケア講座、成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 75 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

既習の知識・技術を統合し、患者個々の様々な状態を的確に判断し、状況に応じて優先順位を考慮した看護を実践できる能力を養う。また、健康の保持・増進、治療、回復において、様々な役割・機能を担っている医療機関・施設での実践を通して、チーム医療を行う上での看護の独自の役割を理解する。さらに、継続して健康管理が必要な人々の保健・医療・福祉に対するニーズ、健康観や健康問題への対処方法を把握し、社会資源の活用方法や地域医療連携のあり方を学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

既習の知識・技術を統合し、患者個々のニーズを的確に判断し、優先順位を考慮した看護実践を行うことで、判断能力・実践能力を身につけることができる。また、看護管理者やリーダーシップ・メンバーシップの役割を学ぶことで、看護におけるマネジメントの基礎的能力を身につけることができる。患者および家族の健康の回復過程において、様々な役割・機能を担っている医療機関・施設との連携や多職種協働の実際を学ぶことで、その中での看護師の役割を認識できる。統合実習を通して、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について責任をもつ必要性や今後の課題を明らかにすることができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 5, 7

### ・到達目標（SBO）

1. これまでの学修成果を基に、自身がさらに実践を深めたい領域や専門分野において、主体的に学修に臨むことができる。
2. 複数の患者の状態を把握し、看護援助の優先順位の判断ができる。
3. 看護師長の役割及び実践している看護管理について説明できる。
4. 多職種が協働して患者・家族を支援するうえでの看護師の役割について説明できる。
5. 看護チームにおけるリーダーシップ、メンバーシップについて説明できる。
6. 医療現場における様々な倫理的問題について、病院の組織的な対応を説明できる。
7. これまでの学修や実習を通してイメージした自分自身のキャリアについて言語化できる

・授業日程  
【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
1 週目 9/21 (火) }			共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 佐藤 奈美枝 特任准教授 小松 恵 特任准教授 小林 由美子 講師 伊藤 奈央 講師 小坂 未来 講師	<p>安全管理や既習の知識・技術を統合し、複数の患者の状況に応じて優先順位を考慮した看護実践ができるよう、主にシャドウイングや見学・説明を通して学ぶ。</p> <p>・詳細に関しては、実習要項に掲載</p>
9/25 (土)		共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	武田 邦子 講師 菊池 佑弥 助教		
2 週目 9/27 (月) }		地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 野里 同 准教授 熊地 美枝 准教授 大澤 扶佐子 准教授 岩淵 光子 特任准教授 高崎 邦子 講師 館向 真紀 特任講師 藤原 弥生 助教		
10/2 (土)		地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座 地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 高橋 亮 教授 蛎崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任准教授 最上 玲子 講師 西里 真澄 講師 伊藤 由香 助教 高橋 淳美 助教 山本 洋子 助教		
ただし、 母性看護学領域の日程 は以下のとおり					
1 週目 10/11 (月) }			成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座 成育看護学講座		
10/15 (金)					
2 週目 10/18 (月) }					
10/22 (金)					

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	基礎看護技術Ⅰ 第5版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017
教	基礎看護技術Ⅱ 第4版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2017
*上記以外は、各領域のプレゼンテーション時に伝える				

・成績評価方法

評価表に基づき評価をする。なお、評価は実習中の学生の態度、記録、実習報告会の発表等により総合的な評価を行う。

※評価表は実習要項に記載する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修に関しては、担当教員の指示の下、既習内容の復習や予習を行い、注意事項、要点などをまとめておくこと。最低 30 分以上は、復習すること。

また、事前学修した内容は、ファイルに綴じて想起、復習しやすいようにすること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

毎日の学生カンファレンスに参加し、コメント・助言を与える。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：臨地実習 統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			